

【3-8】

湾・灘の区分	広島湾
取組の名称	海底清掃事業
事業期間及び事業費	事業期間:1993年度(平成5年度)～継続中 事業費:約5,000(千円)平成5～19年度、26～30年度 約10,000(千円)平成20、22、24年度
事業体制	取組み主体:広島市経済観光局農林水産部水産課
事業の背景・目的	(背景) 広島湾に、ビニール類等様々なゴミ類が堆積しており、底曳き網・刺網等の漁業操業に支障を生じていることから、漁業者から海底清掃の要望があり、1992年度(平成4年度)に試行、1993年度(平成5年度)から事業化している。 (目的) 広島湾の主要漁場の海底に堆積しているゴミ類を除去し、操業にかかる負担軽減(漁獲物とゴミ類の分別)、漁獲物の損傷低減、漁獲量の増大を図るとともに環境保全に対する意識の高揚を図る。
事業場所の詳細	広島湾北部 点線囲み:海底清掃実施場所(1区画の面積が3km ²)  出典:国土地理院HP (http://maps.gsi.go.jp/)より作成
事業内容	<事業概要> ・[実施場所]広島湾北部 ・[実施地点数]7区画(毎年度1区画ずつ、7区画を順番に実施) ・[実施方法]底曳き網漁具を装着した多数の機船を使用して、海底から堆積物を曳き上げ、可燃ゴミ、不燃ゴミ、産業廃棄物に分別し、処分する。 <年度ごとの作業内容> ・[実施時期・頻度]12月～3月・毎年度1回 ・[実施日数]約6日 ・[実施面積]約3km ² ※2008年度(平成20年度)から2012年度(平成24年度)は、隔年度で面積約6km ² を実施 ・[ごみ回収量]約60m ³ ・[作業船隻数]約80隻
取組による効果・影響及びその判断基準等	(効果) 漁業操業での漁獲物の選別作業を効率化でき、漁獲物の損傷が軽減される。
現状での課題	漁業者の高齢化・後継者不足等により、漁獲量の伸び悩みがある。
今後の予定等	2019年度(令和元年度)から2021年度(令和3年度)まで、毎年面積約3km ² で実施予定である。
取組事例についての発表資料等	
情報提供元	広島市経済観光局農林水産部水産課